

# 子どもたちが幸せに生きる熊本に！

熊本県議会議員 つつみ泰之活動報告

## つつみ @ 通信



元旦の地震に続き水害で被災された石川能登の方々に心よりお見舞い申し上げます。一時でも早い復旧を願っております。9月の一般質問を終えました。県議会の質問は事前通告方式となっており、県の各部に対して発言内容を（一言一句）通告し、質問前に執行部からの答弁をいただくこととなります。一問一答方式なので、執行部の答弁に対して時間内に更に追求することはできません。後日担当部課に報告を求めるか次の（翌年の）質問の機会に更に深い質問を投げかけることとなります。どの議員も政策の実現に関しては悩みがありますが頑張っています。仕事で大切なのは最後まで諦めない執念です！

### 【令和6年9月一般質問「奨学金制度：県育英資金の現状と課題について」】

質問：高校時利用者へのアンケートの中で、奨学金の返済が「生活」と「結婚」に影響を及ぼしていると答えている者もいる。高等学校等就学支援金制度が拡充され高校生を持つ8割の世帯が実質高校授業料無償化される中で育英資金の一部が家庭の生活費に消費され、子どもに貧困の連鎖が発生することはあってはならぬ。本人の為にならない奨学金の利用には何らかの手立てを講じるべき。

教育長答弁：育英資金の貸与時に借主である生徒本人及び連帯保証人である保護者等に対し、育英資金の目的を再度徹底するとともに貸与時の意志確認を丁寧に行うことが必要。向学心に富みながら経済的理由により修学困難な学生又は生徒に対し、教育の機会均等を図り、将来社会に貢献し得る人材を育成するという育英資金の目的を実現するため引き続き適正な運用を行って参る。

### 書籍紹介



『戦後 日本教育史』  
岡貝塚茂樹/著

歴史解釈の問題点を念頭に置きながら戦後教育の歴史を大きく4つに分けて実証的に検討した本。GHQの占領教育政策や道徳教育、公教育の変質等、勉強になりました。

#### 本書紹介（目次より）

- ・変節した教師と教育学者
- ・迷走した「ゆとり」教育
- ・道徳教育論争と教科化
- ・「令和の日本型学校教育」の行方は？

製作者：つつみやすゆきプロフィール 1974年7月7日 熊本市中央区水前寺のツツミ薬局の5人兄弟の長男に生まれる。

[学校] 託麻原小、帯山中、熊本学園大学付属高校、熊本YMCA学院建築科

[経歴] 現場監督から建築設計事務所勤務を経て、福岡の不動産会社に勤務。平成18年に開業・現職

2022年5月の熊本県議会議員選挙熊本第一選挙区補欠選挙にて20033票で初当選、2023年4月、10,789票で2期目当選

[資格] 宅建士・宅建マイスター・不動産コンサルティングマスター・2級建築士・CFP（国際認定FP資格）・防災士

### 今月の数字

#### 県民アンケート『子育て支援で必要なもの』

#### 『働きながら子育てができる環境』84.2%

県が昨年実施した「こどもまんなか熊本」の実現に向けた県民アンケートの中で、対象とした「社会人」「学生・生徒」とともに1位「働きながら子育てができる環境であること」が、それぞれ84.2%、81.3%。2位「こどもを生き育てていくために必要な資金」81.0%、71.1%。3位「保育子育てサービスの充実」72.3%、59.8%となりました。熊本を仕事と子育てを両立しやすい県にすることが、少子化の克服と県外への若者の流出抑止につながる事がうかがえます。親子が幸せに生きる熊本を皆でつくっていきましょう！